

『トライ&チャレンジ』

Try & Challenge

No. **39** 号

今号は・・・

- ・白川ひでつぐ Youtube チャンネル登録者数 100 名を超えました
- ・オンラインタウンミーティングに参加して
- ・白川さんと駅前対話集会すること
- ・「駅前対話集会」の試み

白川ひでつぐ Youtube チャンネル
登録者数が 100 名を超えました！

以前より様々な場所でお伝えしております、「白川ひ

でつぐ公式 Youtube チャンネル」のチャンネル登録者数が 100 名を超えました！100 名を超えると何ができるかということ、「モバイル（スマートフォン）を使って動画のライブ配信ができる」ということなのです。今までは重たい機材を沢山持って設営にも時間がかかっていた動画の配信が、スマートフォン一つで作業ができるようになりますから、思いついたらどこでも動画の投稿をすることができます。先日さっそく、今越谷市議会で問題になっている蒲生地区の三学園構想の工事現場にロケに行ってみました。

（9月27日 三学園構想新校舎予定地・蒲生小学校の解体現場から <https://youtu.be/b3pzzeXXR-k>）

今後は越谷市内の名所や穴場、美味しいお店などを気軽にご紹介する番組（白川ひでつぐの 1 歩 2 歩 散歩）などで、スマホからの配信をしていきたいと思えます。

また、白川ひでつぐ公式チャンネルでは、「議会ででの質疑の様子」「オンラインタウンミーティング」「がんばろう日本！国民協議会の機関紙 1 面の解説（ライブ配信）」「駅前対話集会（ライブ配信）」「ゲーム実況（ライブ配信）」「政治家や学識経験者、市民との対談」など、沢山の企画をしています。また、Youtube だけでなく、Twitter や Instagram など、様々なネットのツールを使って活動をお伝えしています。よろしければのぞいてみてください！

お久しぶりの Try & Challenge になってしまいました。コロナ禍も 3 年目、私たちの生活も大きく変わりました。外出が減り、収入も減り、しかしストレスは増える。そんなマイナスイメージが強い状態ですが、オンライン会議による働き方の変化や、健康意識の高まり、家族との時間や自分の余暇時間の増加など、プラスの印象もあるようです。いずれにせよ、強制的に「変化」せざるを得なかったこの 3 年間は、私たちの生活習慣だけでなく、意識や価値観を変化させました。コロナの終息に見通しが立たない中、政府は様々な規制の解除をはじめています。こおことをどう受け取り、自分はどう対応していくのかを決めるのは私たち自身です。そろそろ集まってこんな話ができれば良いなと、思いました。



1 歩 2 歩散歩



スペシャル対談



音声版

一心太助の天秤棒

オンラインタウンミーティングに参加して

今回、タウンミーティングの司会を担当させて頂きました、大豆生田です。今回このような機会を頂きとても光栄でした。私は普段大学で学業に励んでおりますが、分野が「教育」なので、ほとんど政治とはかけ離れた所を勉強しているので今回の機会が普段とは違うのでとても楽しく、また地域政治に興味を持ちました。また機会があればよろしくお願いします。（大学3年生 女性）

普段から参加しているが、今回は特に同世代が多く、刺激的だった。

インタビュアーの年齢がキーポイントだったのか気になるところであるし、どうやったら今回のように世代に活動が広がっていくのか考えていきたい。（大学3年生 男性）

実際の政治家さんの意見を聞くことができる貴重な意見だった。市民側の意見や要望はよく聞けるが、行政側の都合を知ることができた。（大学3年生 女性）

白川さんと駅前対話集会ということ

地方議員選挙、市長選挙の候補者サポートボランティアの経験がある。候補者に政策について質問できる環境にあったが、有権者はそこまで聞いてくることはないという前提で細かい説明はされないことが殆どだった。確かに選挙運動期間の街頭演説、SNSの投稿にも政策や主義主張についての質問が投げかけられたことはなかったようだ。地元愛があろうとなかろうと我々が安心して暮らせる場を担保できるのは、行政の議案を議会で諮るという機能が働くからであるが「知らないうちに決まっていた」というのが実際である。首長、議員にしてみれば、「議会を傍聴すればよい」「議会報告を読めばよい」と言いたいところだろうが、当事者である市井の人々の意見は汲まれているのだろうか。

いつも駅前に立って話をしている議員さんがいる。昨今の世界情勢、国政の状況を鑑みると、我々はただ傍観してはまずいのではと思ったときに「どう思います？」と聞いてみたくなった。公衆の面前でのYou tubeのライブ配信で、突然の質問になんと答えるのだろうか。

相手が誰であろうと真摯にゆっくりと話を聴き、易しい言葉で明瞭に答えてもらえたことで、予期せず自分の存在価値に気づかされた。白川さんと対話をするということは、私自信と向き合う時間である。

春日部市 利柳下亜矢子

「駅前対話集会」の試み

白川さんというと「朝の駅頭」ですが、6月から月に2回、夜に越谷市内の駅で街宣の実施をしています。その名も「駅前対話集会」です。テーマが決まっています、そのことについて30分ほど白川さんのお話があり、そのあとは市民との「おしゃべり」で構成されていますが、いつでも飛込参加OKになっています。私たちは普段自分が思うことを発言する機会をあまり持っていません。まずはざくばらんに話ができる「場」があることが大事なのではないでしょうか。さすがに急にひとりで話しだすのは勇気がいるので、白川さんに口火を切ってもらい、あとは私たちが自分の想いを発信するステージになったらよいなどの思いで、この集会を始めました。今後の予定は随時チラシやWebでお伝えします。お仕事帰りや散歩の途中で、ぜひあなたも「駅前アピール」してみませんか？

春日部市 吉田理子